

地域に内在し世界を構想する JCAS Review

# 地域研究 Vol. 11 No. 1

特集 1

## 金門島研究

その動向と可能性

川島真／江柏焯／マイケル・スゾーニ／陳來幸／貴志俊彦

特集 2

## メデイエーション としての地域研究

阿部健一／島上宗子／石山俊／北田多喜

●地域研究コンソーシアム／JAPAN CONSORTIUM FOR AREA STUDIES

行福安文峯開浯金門

溯黃帝世家三薛都統

〔特集1〕**金門島研究**——その動向と可能性

〔特集にあたって〕**地域研究の対象としての金門島**……………

川島 真

007

**金門島の概況**……………

川島 真

016

〔座談会〕**金門島研究の魅力と課題**……………

陳來幸・貴志俊彦・川島真(司会)

020

**僑郷としての金門**——歴史的背景……………

川島 真

043

**軍事化・記憶・金門社会**——一九四九〜一九九二年……………

マイケル・スズーニ

062

**国家、地方社会とジェンダー政策**

——戦地金門の女性の役割およびイメージの再現……………  
江柏煒／マイケル・スズーニ

088

# 「特集2」メディアエーションとしての 地域研究

「特集にあたって」プラクシス・行動のための知識

阿部健一

131

学びあいのメディアとしての映像記録

——中スラウエシの山村トンプにおける実践から

島上宗子

138

「インターン」生活から考える都市・農村交流と農村調査

石山 俊

167

国際協力でのメディアエーション——研修を豊かにするために

北田多喜

186

# 金門島研究

## その動向と可能性

かつて中国と台湾の軍事境界線であった金門島をめぐって、昨今は「金門学」が提唱され、英語の専門書が出版されているほどである。金門島はどのような問いを投げかけているのだろうか。昨今の研究成果をまじえながら考えてみたい。

# メディアーションとしての 地域研究

地域は、ほかの地域とつながることによって豊かになれる。地域と地域をつなげる実践。それがメディアーションである。つなげるために情報を収集し、それを知的に体系化してゆくことは、地域研究の未知の領域を拓くことにならないだろうか。

## 『地域研究』刊行にあたって

グローバル化の進む今日、世界の各地は緊密に連関し、また共通の課題に直面しています。その変化や課題が展開されているのは、人々の生きる現場である「地域」。『地域研究』は、地域の総合的理解を目指す地域研究のフォーラム誌として、世界各地を対象とする多様な研究を結び、地域の視点から問題を提起し、「地域から世界を考える」ことを目標に刊行されます。

『地域研究』は、編集委員会を地域研究にかかわる全国の研究教育機関、研究プロジェクト、学会、市民組織や国際機関などが参加する「地域研究コンソーシアム」におき、多様な研究対象地域やアプローチをもつ研究者が協力して編集しています。年2回の刊行はコンソーシアム事務局を担当する京都大学地域研究統合情報センターが行っています。

---

### 投稿のご案内

『地域研究』では、特集案および個別論文を公募しています。特集企画案は編集委員会で検討し採否を決定します。個別論文は、査読を経たのち、編集委員会で採否を決定します。公募要領および執筆要項などの詳細は、地域研究コンソーシアムのホームページ (<http://www.jcas.jp>) に掲載しています。また刊行担当 ([journal@cias.kyoto-u.ac.jp](mailto:journal@cias.kyoto-u.ac.jp)) にメールにてご相談いただくこともできます。

地域に立脚した視点から広く「世界」を考える企画・論考を歓迎します。ぜひふるって、ご応募ください。

---

### 『地域研究』編集委員会 (2011年3月現在)

白杵 陽	日本女子大学文学部 (委員長)
阿部健一	総合地球環境学研究所
市野澤潤平	宮城学院女子大学学芸学部
川島 真	東京大学大学院総合文化研究科
西 芳実	立教大学A I I C
柳澤雅之	京都大学地域研究統合情報センター
山本博之	京都大学地域研究統合情報センター
小森宏美	京都大学地域研究統合情報センター (刊行担当)

### 編集後記

『地域研究』第11巻第1号をお届けします。まず、今年度もまた、第1号の発刊が予定より遅れましたことを、刊行担当としてお詫び申し上げます。今号は、「金門学」と「メディアーション」という一見かなり異なる主題を扱った2つの特集によって構成されています。とはいえ、そのどちらも、地域研究における相関性に着目しているという点で、地域研究のあり方に対するひとつの提言になっています。ひとつの地域に深く入り込むことで逆に外部世界との関係性の広がりを自覚するといった研究態度や、地域と地域をつなぐさまざまな営為の中からの発見は、まさに「地域研究」という学問分野にとって、あるいは本誌にとっても、その大いなる可能性を示唆していると思います。

(刊行担当 小森宏美)

## 地域研究 Vol.11 No.1

---

初版発行	2011年3月25日
編集	地域研究コンソーシアム『地域研究』編集委員会
発行	京都大学地域研究統合情報センター 〒606-8501 京都市左京区吉田下阿達町46 journal@cias.kyoto-u.ac.jp <a href="http://www.cias.kyoto-u.ac.jp">http://www.cias.kyoto-u.ac.jp</a>
制作・発売	株式会社 昭和堂 〒606-8224 京都市左京区北白川京大農学部前 電話075-706-8818 / FAX 075-706-8878 振替01060-5-9347 <a href="http://www.kyoto-gakujutsu.co.jp/showado/">http://www.kyoto-gakujutsu.co.jp/showado/</a>

---

印刷 亜細亜印刷

© 地域研究コンソーシアム『地域研究』編集委員会 2011

Printed in Japan

ISSN 1349-5038

ISBN978-4-8122-1115-1